



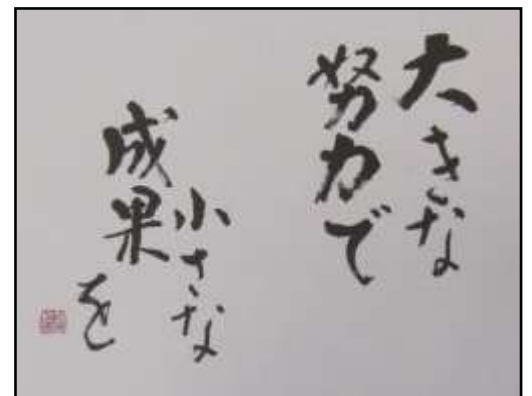
## 治療する意識 ~学習の診断を通して~

「学習の診断」が終わって一週間が過ぎようとしています。テストが返されて、一喜一憂した人もいるのではないのでしょうか。ところで、テストが返ってきて、皆さんは何かを意識して学習に取り組んできましたか。今回は、この「学習の診断」について様々な視点から考えてみようと思います。

「健康診断」という言葉があります。治療を要する病気があるわけではないけれど、体に異常がないかを調べるためにいろいろな検査を受けるものです。仮にそこで異常が見つかったとしても、それに応じた治療を行えばいいのです。毎年皆さんは、歯科検診や耳鼻科検診など、たくさんの検査を受けます。例えば、歯科検診で虫歯が見つかったとします。後日、「要治療」の手紙を渡された人は、それを持って歯科医に行きます。そして、治療をして虫歯のない健康な歯になります。しかし、もしそのまま放っておいたらどうでしょう。虫歯は決して治らず、それどころかさらに悪化していくに違いありません。やがて、強い痛みが襲い、やっと重い腰を上げたときには、もう歯を抜くしかない状態になっているかもしれません。

「学習の診断」もこれと同じです。これまで学習してきた内容のどこが理解できていないのかを調べるための検査だと考えることができます。返ってきた解答用紙を見れば、病巣がどこなのかが分かります。病巣の箇所がはっきりすれば、後はそれに適した治療を行えばいいのです。ただ、この治療をきちんと行うかどうか大きな問題です。つまり、治療しようとする意識があるかどうかなのです。もし、その病巣をそのまま放って置くと、進行することはあっても、自然に治ることはありません。そして、そのツケは必ず後でまわってくるのです。そのためにも、返ってきた解答用紙をもう一度見直し、自分の弱点を知り、その克服ができるように学習していきましょう。

また、部活動に例えて考えてみると、大会（入試）で勝とう（合格しよう）と思えば、日々の練習（学習）が大切です。その練習（学習）の成果を試すには、大会（入試）前に何回か練習試合（学習の診断）をするはず。練習試合（学習の診断）で悪かったところは、その後の練習（学習）でさらに技術を磨き（弱点を補強し）、大会（入試）に備えなければなりません。この練習（学習）を真剣に行えば、きっと実力（学力）が付き、自信がわいてくるはず。す。



このように、いろいろな視点から物事を考えてみることはとても大事なことです。

さて、15日（金）に学年末テスト発表がありました。が、「学習の診断」と「定期テスト」とでは、どう違うのでしょうか？

◇学習の診断…基礎学力を「診断」して、今の自分に欠けている課題の発見や学習方法の見直しをすることが目的です。出題範囲が広いので、日々の努力の積み重ねが非常に大切です。出題形式が高校入試によく似ているため、高校を決定する際の重要な参考資料となります。

○定期テスト…毎日の授業での理解度ををはかるのが目的です。出題範囲が限られているために勉強しやすく、短期集中型でも比較的効果が表れます。学期ごとに集計され、授業態度（提出物等も含む）等の平常点とともに、学期末の評定の判定資料となります。

以上のように、「学習の診断」も「定期テスト」もとても大切なテストなのです。

さあ、3年生はいよいよ公立高校一般入試、1・2年生は22日から今年度最後の「定期テスト」学年末テストが始まります。一日一日を大切に、最後まで“自信につながる努力”を続けていきましょう！